

一般
会計

法人税の増加は
景気回復の兆し

問 法人税が増えている。山田の景気は回復傾向にあるのか。
答 法人税制の納付が伸びているため。これは

全国的なもので、山田以外の本社などの実績がはね返っていると考えられる。地方消費税交付金が減っている理由は、県から市町村に配分されるものである。町の景気には関係ない。全国的には消費が伸びていると考えられる。

国勢調査の
人口予測は

問 国勢調査の実施時期は。人口動態の予測をどう考えているか。

答 調査は九月二十三日から十月十日まで行われる。平成十二年の調査時の人口は、二万二千二百四十四人であった。今回の調査では、かろうじて二万人を超えるものと考えられる。

納税貯蓄組合の
補助金減額は

問 納税貯蓄組合補助金が減額された理由は。
答 今までは納付額の率により交付していたが、事務費補助に変更したためである。

問 宮古市の合併により、広域行政組合の負担金はどう変わるか。
答 内容は協議中であるが、宮古市の合併により各市町村の負担割合は変わってくる。本町の負担金は減るものと予想される。

リハビリ施設整備
補助金の内容は

問 加藤病院リハビリセンター施設の概要と補助金額の根拠は。
答 宮古地区にリハビリ施設が必要とのことから、国の補助を受け建設さ

れる。病床数は百四十八床で、十八年三月に完成の予定。宮古広域に三千万円の補助要請があり、人口割九〇割、均等割一〇割の割合による補助である。

堆肥センター建設の
最終的な総事業費は

問 堆肥センター建設にかかった事業費は。
答 十七年度に建設する出荷施設で全ての整備が完了する。センター建設などにかかった金額の総額は、出荷施設を含め、四億八千万円である。

観光車道の用地費
支払いは無駄では

問 田の浜から小谷鳥への観光車道の用地に、毎年多額の賃貸料を支払っている。無駄ではないか。
答 観光車道は、当時の観光客の需要に因應するため、大浦街道がもしも

の時のために整備された。現在は道路としての利用はされていない。指摘のとおり頭の痛い問題。
問 ヒラメ負担金は恩恵を受けている遊漁者な

どが負担すべきではないか。
答 県には投資対効果を目指して、問題提起をしている。

町道細浦・柳沢線
整備事業は中止か

問 細浦・柳沢線の休止とは。事業を中止するということか。
答 全体の用地買収にある程度が目処がついたことから、平成十七年度から県代行事業として、採択されるよう県に要望している。

問 豊間根地区にある橋はさびて危険だ。補修計画は。
答 石峠・中村・島田橋が老朽化して危険である。第八次発展計画に盛り込む方向で進めている。

車輛の安全確保の
ため町道の草刈を

問 町道の草刈り委託料がなくなった、十七年度は、草刈りをしないのか。
答 昨年までは国の補助金を利用し実施していた。今年度は、町道維持補修費により実施したい。



早期の架け替えが望まれる石峠橋（豊間根）

問 私道整備の今年の見込みと、補助要件は。
答 現在、整備の要望があるのは三件。補助割合は、十七年度は現行どおり八割、十八年度は七割、十九年度は六割としたい。

海を守るための
具体的な努力を

問 「海を守る会」の位置づけを明確にし、個人・企業・役場がそれぞれ役割を持ち取り組むべきでは。
答 「海を守る会」の位置づけを明確にし、個人・企業・役場がそれぞれ役割を持ち取り組むべきでは。

問 消防団の充足率を上げる努力を。
答 消防団の充足率を上げる努力を。地域に根ざした消防団とするため、充足率を上げる努力をする。

問 会のあり方、位置づけについて、今後、具体的に検討していく。
答 今後、防災体制に力を入れるべきでは。新たに、防災主幹を置く方向で検討している。

消防団の充足率
を上げる努力を

問 消防団の充足率を上げる努力を。
答 消防団の充足率を上げる努力を。地域に根ざした消防団とするため、充足率を上げる努力をする。

豊かな体験活動
推進事業の内容は

問 豊かな体験活動推進事業の内容は。
答 総合的な学習推進のため、町内の学校がそれぞれ計画を出し実施している。地域に密着した体験学習で、米作り、いかに養殖、郷土芸能などを行う。

津波体験者の話を
地域の力を活用し

問 体験学習で、津波体験者の話を聞かせるなど、地域の力を活用すべき。
答 大沢小学校では取り組んでいる。他の学校でも取り組むよう考えたい。

問 老朽化した文化財の看板や標柱の立替えを。文化財パトロールを行い、検討したい。
答 房の沢古墳群の現地保存をどう考えるか。説明看板を設置する予定である。

賛成討論

■佐藤忠暉議員
合併せず単独で生きようとする山田町の財政が厳しさをます中、執行部は社会福祉憲章条例の改正、下水道料金の値上げなど、市民の負担増となる施策を次々に打ち出してきた。毎日の苦しい生活の中から血税を納める市民の事を思うと、全職員、議員も自分の負担をすべきと考え、給料一〇割カットを提案したが明解な答はなかった。このことに憤りをおぼえ本予算に反対する。

賛成討論

■生駒利治議員
先行き不透明な国からの地方交付税と税源移譲、そして一般財源の確保が非常に厳しい中において、「入りを量りて出するを制する」の方針でまさに身の丈にあった予算編成である。また、年間所要額の全てを当初予算に計上し、予算の過不足が分かりやすくメリハリのある予算編成であり、努力と工夫の跡がみられ、ベターに近い予算であると思う。このことから本予算に賛成する。

賛成討論

■鎌田孝典議員
厳しい現状の中、前年度比五・三割減でとどまることができたのは努力の成果と思う。第七次総合発展計画事業を計画どおり実施すべく予算配分を行うなど町民に目を向けた予算である。また、豊かな自然をはぐくむ自然環境づくりの力を注いでいる事もわかる。町民にまさに幸せを実感させる予算であり、本予算に賛成する。